

# ASUMIN NOTE

[あすみんノート]

2017 Autumn

No.

# 09

Advance to tomorrow!

## Special Issue

### ともに在る被災地支援

#### Voice

藤澤健児 (NPO法人 ANGEL WINGS)

#### GOOD ACTIVITY FILES

NPO法人日本九援隊、NPO法人福岡被災地前進支援  
学生ボランティア団体「いと」、チーム田中屋

#### KNOWLEDGE

被災地支援の変遷

#### TOPICS

防災共創プラットフォーム

## ASUMIN INFORMATION

#### Asumin Recommend

NPO法人入門講座

#### Hondana!

災害支援手帖

#### Organization Introduction

登録団体紹介：登録番号498～534

災害ボランティア活動  
支援プロジェクト会議

支 P

# ともに在る被災地支援

Advance to tomorrow!

ASUMIN NOTE NO.09

Special Issue

平成28年熊本地震の記憶も新しいなか、一年を経た九州で「平成29年7月九州北部豪雨」が発生しました。今回のissue(論点)は「被災地支援」。数々の経験を超えてたどり着いた、被災地支援の現在を紹介します。

## 「被災」と「被災地支援」のメカニズム

被災された方の多くは「まさか自分が」と落胆し、これからの生活に不安をお持ちです。ボランティアが支えるべき大きな役割は、被災者の心理やニーズを理解した的確な支援。ここでは、被災とその支援のメカニズムを理解するため、被災者の立場や心理状態、その支援の関係性について整理します。

### 1 被災することで、感じる不安

<b>物理的な側面</b>	<b>肉体的な側面</b>	<b>精神的な側面</b>
家屋、家財の損害 インフラの破壊	ケガや体調の悪化 災害関連死	恐怖や不安 認知症の悪化
<b>経済的な側面</b>	<b>社会関係の側面</b>	<b>情報に関する側面</b>
収入の減少や途絶 生活費の増大	家族や地域の断絶 社会との関わり	社会制度の情報 申請や契約

### 2 被災地の多様なニーズ

<b>復旧</b>	<b>生活・福祉</b>	<b>情報</b>	<b>精神的</b>	<b>地域・集団</b>
・家屋内外の片付け ・家財の移動 ・ゴミ出し	・衣食住の支援 ・要援護者対応	・生活支援情報 ・連絡調整 ・プライバシー	・イベント開催 ・心のケア、傾聴 ・子どもの遊び	・避難所の運営 ・運営ルールづくり ・公共スペース確保

### 3 災害時のボランティアの取り組み

- 泥出し、片付け作業 ■炊き出し ■物資支援 ■遺留品洗浄 ■避難所支援
- 要援護者のサポート ■入浴支援 ■病院送迎・移動支援 ■引っ越し手伝い ■就労支援
- 心のケア ■元気づけ行事 ■何でも相談、話し相手、寄添い支援 ■買い物代行
- 通訳、翻訳、点訳、手話 ■申請手続き支援 ■わかりやすい情報提供
- 学習支援、子どものサポート、託児・学童保育や児童館支援 ■洗濯支援(ふとんや衣類) ■ダニ駆除
- 消臭 ■機材提供 ■サロン、場の提供 ■個別のニーズ対応(アトピー、糖尿病、障がい)
- 大工ボランティア ■ペットの世話

# VOICE

ボイス

NPO法人 ANGEL WINGS (エンジェルウイングス)

藤澤 健児さん Kenji Fujisawa

## 災害ボランティアで、 藤澤さんが担う役割

「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」という災害ボランティアセンター（以下：ボラセン）を支援する全国規模のネットワークがあって、その一員として、被災地のサポートをしています。今回の九州北部豪雨では、朝倉市をはじめ、東峰村や大分県の日田市など、あらゆるボラセンを回り、ヒトやモノの調整をしています。私たちの大きな役割は、被災地の支援体制を充実させることです。例えば、昨年の熊本地震で現在230名程亡くなっていますが、そのうち180名程は「災害関連死」。震災後の厳しい避難生活等で体調を崩されたり、先行きを悲観し

くなった方もいます。これは、もっと支援体制がしっかりしていれば、防げることだと思います。

## ボランティアに望まれる、 被災地支援のあり方

被災者の困りごとの一番の窓口・受け皿は、やっぱり役所・行政です。それから、親戚や地域の住民同士での助け合い、市内で活動する団体などがあります。そして、地域だけでは解決できない部分に、我々のような外部からの支援組織が入ります。ボランティアに相談があった困りごとでも、行政が得意なものをお願いするし、逆に行政からボランティアにというケースもあります。みんながつながり、一体となって被災地の課題

今回のvoiceでは、今年7月に発災した九州北部豪雨など、あらゆる

を解決していくイメージです。

地域では、普段から様々な課題を抱えていて、災害が発生するとそれが一気に明らかになります。その中で外部の支援でできることは、ごく一部ですが、被災者からいただく声（※後述）からは、ボランティアでもできることだけではなく、ボランティアだからこそできることがあるとわかります。「被災」という一大事に、企業や行政では得られない効果がボランティアにはあると思います。

## 活動の受け皿となる、 「災害ボラセン」

被災地のニュースで「災害ボラセンが設置された」と報道されることが当たり前になりました。これは、これまでの活動で市民が築き上げ

たもので、国内で大規模な災害があるとボラセンが立ち上がりません。地元の社会福祉協議会が中心となり、NPOや企業、行政が協働型で運営するスタイルも固まってきました。

ボラセンの目的は、一般のボランティアさんを受入れ、被災された方々のニーズや困りごとに繋ぐこと。だからボラセンの任務で、地域の情報収集は大事な仕事です。地域に出向き調査をしたり、相談所を設けたり。また、困っていても要望を上げられない方もいるので、常にアンテナを張っている必要があります。

今回の水害では、朝倉市や東峰村、添田町、大分県日田市でボラセンが立ち上がり、参加者はこれまでに3万人を超えました。朝倉で平日は500人、休日には1300人程。一番多い日は2266名が訪れています。もちろん、一日の活動の成果は小さなものですが、いつも「ボラン



# GOOD ACTIVITY FILES

## グッド・アクティビティ

### 05 被災地に支援のチカラを届ける ボランティアバスの運行

#### NPO法人日本九援隊

NPO法人日本九援隊は、災害に関する啓発活動や、自然災害が起こったときに被災した地元団体等と連携し、ボランティアが被災地で活動できるよう支援を行っています。2016年4月に発生した熊本地震をはじめ、鳥取中部地震や九州北部豪雨など多くの被災地支援に従事しています。また、ボランティアバスの運行を行っており、熊本地震では発生から1年2ヶ月の間に、計60回ものバスを運行し、延べ2,200人の災害ボランティアを福岡から派遣しました。



### 06 経験豊富なスキルを活かし、 被災地のニーズに沿った幅広い支援

#### NPO法人福岡被災地前進支援

NPO法人福岡被災地前進支援は、「楽しくなければボランティアじゃない」をモットーに、防災ワークショップやSNS・写真展による情報発信などに取り組んでいます。また発災時は被災地に入り、東北や広島、熊本などで支援活動を行ってきました。九州北部豪雨災害では、災害ボランティアセンターの運営支援、救護巡回（被災地医療支援チームそらと協働）のほか、災害ボランティアが初めて、という方を後押しする活動に取り組んでいます。



被災地支援の現場で活躍している「NPO法人 ANGEL WINGS(エンジェルウイングス)」の藤澤さんにお話をうかがいました。

ティアはリレーだ！」と言っています。ちょっとしたことも、一歩進めば次に繋がる。多くの力を引き継ぎ復興に向けて頑張ろう！というのが、ボラセンとしての思いです。

## 災害ボランティアに寄せられる、より一層大きな期待

災害ボランティアには色々な捉え方がありますが、私は被災された方々の自立と生活再建こそ、第一の目的だと思っています。被災され大変な状況ですが、全部やってあげるのではなく、その人がその人らしく生活する方策と一緒に考え、悩み、解決していくことが大切です。その方の課題は、泥かきが終わり家に住めるようになっても続きます。被災者一人ひとりが、今後の人生を描けるようなサポートが求められているんです。

また、今回の水害は、大量の土砂で人力では片付かない状況でした。画期的な取り組みだと思っているのが、それらを取り除く「重機」をマッチングできたこと。「土日、重機持っていきよ」との申し出がたくさんあって、多いときには15台ほどの重機が集まりました。警察も自衛隊も国交省も重機

を使いますが、ボランティアさんが、それと並び重機部隊として活動するシーンもありました。

## 大学生による被災地支援、「うきはベース」の可能性

被災地の支援活動において、大学生の力は計り知れないものがあります。時間が比較的自由に取れることはもちろん、地域とのしがらみがないことや、とにかく元気なことも、学生の大きな武器です。「うきはベース」は、学生の活力や思いを最大限に受けとめる場所として作られた学生ボランティアのための宿泊施設です。ここでは、被災家屋の復旧作業とは別に、夜にみんなで集まり「被災者はどんな問題を抱えているか」「地元に戻りどんな活動ができるか」などを議論します。数日のボランティア体験を通じ、災害からの復興や被災者の心のケアなど、様々な課題を知ります。これ



▲うきはベースに残された学生たちの寄せ書き

から、どこかで災害が起きた時、ここに来た学生やその後輩達が最前線に立ち活躍してくれることを期待しています。

## 被災地支援の現在地とこれからの展望

最近では行政の認識も進み、私たちのような外からのチームと手を組むことへの感覚も変わってきました。助成金やファンドも整ってきたので、活動をしたい人が続けられる環境もできつつあります。しかし、昨年の熊本震災と比べ、豪雨災害への注目度が低いのか支援金が集まらず、団体の中にはやるべき作業を残したまま撤退を余儀無くされるケースもあります。災害が国内のどこで起きても、十分な支援が得られることが望まれますし、それができる仕組みが完成すれば、世界の被災地で活躍できる、先進的な支援システムになると思います。

今回の水害では、過去に同じように被災した広島や八女、そして昨年の熊本からも惜しみない協力があります。各々の被災地には「あの時、助けてもらった」という感謝の気持ちや忘れられない苦

労があるのでしょう。

支援までのスピードは以前よりも早くなり、技術やスキルも洗練されています。だからこそ、これからの課題は、コミュニティの部分。人口が減少する中、人々がいかに助け合えるかが、問われていると思います。

## 被災者からの声

片づけてくれて、1人で途方にくれていたけど生きる希望が湧いてきた

見ず知らずの自分の家を泥だらけで頑張ってくれて、元気ももらった

家も仕事も失ったけれど、人の温かさを知ることができた

被災者同士では話せないことも自然と話せる

## NPO法人 ANGEL WINGS

航空機を利用した災害支援を中心に活動。災害ボランティアセンターへの継続支援のほか、センター設置運営訓練や自治会などに向けた防災研修会等も実施している。

<http://r.goope.jp/angelwings>

## イ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

## 07 西南学院大学の学生が考える自分たちにできる被災地支援

### 学生ボランティア団体「いと」

西南学院大学の学生ボランティア団体「いと」は、東日本大震災の際に大学主催の災害ボランティアに参加した学生たちが、福岡でも被災地支援を継続できるように設立した団体です。被災地から離れた場所でもできる活動として、街頭募金や、チャリティーイベントの企画など、幅広く行っています。「いと」という名前には、一つ一つの活動をつなげて線にするという思いがこめられており、各々ができる範囲で力を合わせた支援を進めています。



## 08 炊き出しや支援物資運搬で、被災地を元気づける

### チーム田中屋

チーム田中屋は、被災地での炊き出しや支援物資の輸送、報告会の企画・運営などを行う被災地支援を機に生まれた団体です。NPOや企業、学生、医療従事者、アーティストなど、さまざまな人が連携し、被災地支援をはじめ、防災や長期的な被災地支援にもつながる日頃からの助け合いの関係づくりに取り組んでいます。今年の夏は、西原村の小学生を招待し、ボランティアと一緒に海水浴や焼肉を楽しむ、福岡でできる支援イベントを開催しました。



## 大災害の歴史から振り返る、被災地支援の変遷

### 1 NPO法の成立に繋がる「ボランティア元年」

#### 阪神・淡路大震災

1995(平成7)年1月17日  
 【規模】震度7 (M7.3)  
 【死者】6,434人  
 【行方不明者】13人  
 【主な被災地】神戸市、芦屋市、西宮市、淡路島 ほか

救護活動には、延べ150万人ものボランティアが参加。その後の日本海重油流出事故を経て、災害が発生すれば誰でもボランティア活動に参加できることが根づいていった。この震災の教訓を活かし、災害時のボランティア活動を視野にいたれたNPOが全国に発足し、NPO法成立へのきっかけ(ボランティア元年)となった。



©神戸市

### 2 「災害ボランティアセンター」が各地に開設

#### 新潟県中越沖地震

2007(平成19)年7月16日  
 【規模】震度6 (M6.8)  
 【死者】15人  
 【行方不明者】10人  
 【主な被災地】柏崎市、長岡市、刈羽村 ほか

新潟県内の各地の被災地に「災害ボランティアセンター」が開設され、地元地域と被災地支援NPOが連携してその運営を行った。災害ボラセンにおける基本的な救護活動をはじめ、その活動の範囲は各地域の集落にまで及び、「生活再建」をも視野に入れた災害復興活動へと発展した。



©災害写真データベース

### 3 連携・協働による「被災地支援の仕組みづくり」

#### 東日本大震災

2011(平成23)年3月11日  
 【規模】震度7 (M9.0)  
 【死者】19,575人  
 【行方不明者】2,577人  
 【主な被災地】東北地方太平洋岸(宮城、岩手、福島県)ほか

被災地には、それぞれ地元のNPO・NGOのネットワークが生まれ、それらが連携しながら、被災地支援や復興支援を行った。この震災の経験を踏まえて、NPOなどの有志が集まり、連携・協働のための仕組みづくりが始まる。国と社会福祉協議会や地方公共団体等が集う連絡会議も開催され、翌年には復興庁が設置された。



©GAHAG

### 4 被災者のニーズに沿う「被災地支援の多様化」

#### 熊本地震

2016(平成28)年4月16日  
 【規模】震度7 (M7.0)  
 【死者】244人  
 【行方不明者】0人  
 【主な被災地】益城町、熊本市、阿蘇市 ほか

全国からNPO・NGO等が被災地に入り、支援者間の連携や調整機能を果たす「災害ボランティア支援団体のネットワーク」が構築された。各団体は、災害ボラセンと連携した支援活動を行う一方、独自にニーズを把握し活動するなど、被災地支援の形態も多様化。周辺自治体による、「被災地に負担をかけない支援」が注目を集めた。



## TOPICS

### 防災先進都市を実現する 防災共創プラットフォーム



「防災共創プラットフォーム」は、防災先進都市の実現を目的として、FUKUOKA Growth Next(旧大名小学校)において、福岡地域戦略推進協議会(FDC)、Pop-up Commons準備委員会、並びに福岡市の3者共同で実施されるプロジェクトです。

企業やNPO、市民による防災関連プロジェクト等の情報を収集し発信するほか、企業等による「防災連携の取り組み(防災チャレンジ)の支援」、「防災とデザイン」「防災と食」などをテーマにした「共創により防災先進地域を作るワークショップ」の開催など、防災に関する幅広い市民・企業・NPO等が交流できる場づくりを展開します。

## あすみんのオススメ

Asumin Recommend

### NPO法人入門講座

あすみんでは、NPO活動に関心のある方やNPO団体を対象にNPO法人入門講座を開催しています。「NPOとボランティアの違い」、「NPO法人格を取得するメリット」などの基礎知識のほか、具体的な設立手続きの流れも学べます。NPO法人についてあらためて学びたい方にもオススメです。みなさまのご参加、お待ちしております。



日程: **10月26日(木) 19:00~21:00**

11月25日(土) / 12月21日(木) ※内容はすべて同じ

※参加には、事前の申し込みが必要です。10/1より順次受付を行います。

## ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

### 災害支援手帖



災害支援の対応をテーマごとに検証し、失敗と成功事例を比較することで、それぞれの教訓を次の災害へ生かすヒント集です。

お金・モノでの災害支援や、支援が変わるちょっとした工夫など、NPOやボランティアへの取材から、現場で本当に役立つ事例をイラスト満載でわかりやすく紹介しています。

ISBN: 978-4-86324-090-2  
定価: 1,296円(1,200円+税)  
判型: A5  
ページ数: 106

【著者】荻上 チキ  
【発行】株式会社木楽舎  
【発行年】2016年

## 登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号498~534)

- |                            |                          |                         |                   |
|----------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------|
| ● 未来に役立つ歴史研究会              | ● NPO百千鳥                 | ● 公益財団法人福岡YWCA          | ● 西日本マンション管理組合連合会 |
| ● マドレボニータ福岡                | ● プラグマティズム研究会            | ● 特定非営利活動法人ツイタもん九州事務局   | ● NPO法人未来サポート協議会  |
| ● NPO法人地域医療連携団体Needs       | ● 特定非営利活動法人全国葬送支援協議会     | ● 一般社団法人ダンミュージックプロダクション | ● 特定非営利活動法人AIP    |
| ● アウトパフォーマンス研究会            | ● プラン博多                  | ● アットキャリア・クラブ           | ● ふくおかac          |
| ● 舞鶴公園フラワーボランティア           | ● グランガーデン囲碁クラブ福岡         |                         |                   |
| ● 福岡インディペンデント映画祭実行委員会      | ● 婚活サポーター                |                         |                   |
| ● まるまる自由共有探索の会             | ● 一般社団法人日本ヒーブ協議会九州支部     |                         |                   |
| ● Success Box              | ● YSメソッド普及委員会福岡          |                         |                   |
| ● お母さん大学 福岡支部              | ● Meets実行委員会             |                         |                   |
| ● 障がい者の明日を考える会             | ● npo元気シニアの仲間たち          |                         |                   |
| ● 法輪功 熊本                   | ● 特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN |                         |                   |
| ● 特定非営利活動法人KAZU・いのちと森総合研究所 | ● 福岡ミュージック・エイド           |                         |                   |
| ● セラピスタアワーズ                | ● NPO法人ask me!福岡支部       |                         |                   |
| ● ACoA BRB 大野城             | ● NPO法人花の花               |                         |                   |
|                            | ● 特定非営利活動法人福岡シュタイナー学園    |                         |                   |

### 利用団体登録・更新について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に、利用登録をお願いしています。登録番号が**[0001~0478]**の団体は、2017年8月31日をもって、初年度の利用有効期限が終了いたしました。引き続き、ご利用を希望される場合は更新が必要です。お済みでない団体は、お早めに手続きをお願いいたします。

## 福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】http://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 地下鉄をご利用の場合 | ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分 |
| バスをご利用の場合  | ●西鉄バス「今泉1丁目」 徒歩1分     |
| 電車をご利用の場合  | ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分   |



HP



facebook

